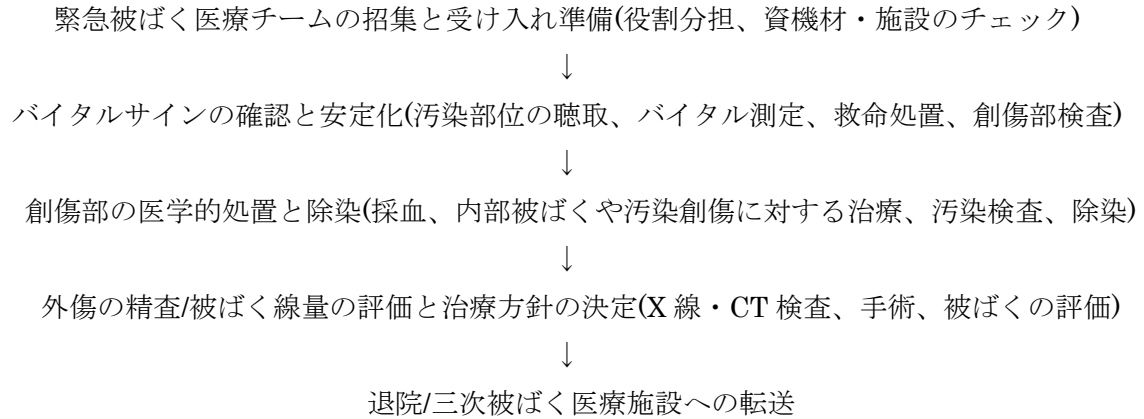

被ばく医療の原則および汚染拡大防止措置

((財)安全研究協会、緊急被ばく医療ポケットブック、2009、p.21-28)

2012年7月20日、災害医学抄読会 <http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/circle/>

被ばく医療の進め方の原則



- 放射性物質による汚染患者でも、救命救急処置が優先される

被ばく防護

外部被ばく防護—主に β 線、 γ (X)線を防ぐ

外部被ばく防護の3原則

1. 遮へい
2. 距離—長いピンセットを使用する、患者からできるだけ離れる、など。
3. 時間—個人線量計も身につける、または周囲の線量を常時チェックし、アラームが鳴れば離れる。

内部被ばく防護

ディスポーザブル手術着、ゴム手袋(2重にする)、手術用帽子、シールドマスク、ゴム長靴、個人線量計

医療チーム

1. 除染・治療チーム—医師、看護師、診療放射線技師
2. 除染室外回りチーム—看護師、診療放射線技師、検査技師、事務員
3. 汚染防護チーム—3人
4. 情報担当チーム—放射線科医師、診療放射線技師、看護師、事務員
5. 調整チーム—事務員

Gy …吸収線量

Sv …線量当量 Gy×放射線荷重係数